



2026年3月19日

各 位

会 社 名 タ カ ノ 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 鷹 野 雅 央
(コード番号：7885 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 責 任 者 常 務 取 締 役 大 原 明 夫
(TEL 0265-85-3150)

特別利益の計上および特別損失の計上見込みに関するお知らせ

当社は、2026年3月期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）において、特別利益を計上するとともに、特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上について

（1）投資有価証券売却の理由

政策保有株式の縮減による資産効率の向上を図るため。

（2）投資有価証券売却の内容

①売却株式	当社保有の上場有価証券3銘柄
②投資有価証券売却益の発生期間	2026年3月期第4四半期会計期間
③投資有価証券売却益	565百万円

2. 特別損失の計上について

（1）当社産業機器事業の固定資産に係る減損損失（連結、個別）

当社産業機器事業が保有する一部の固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失538百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

（2）関係会社株式に係る評価損の計上（個別）

当社が保有する連結子会社である株式会社ユーキ・トレーディングの株式について、実質価額の著しい低下が認められたため、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、個別決算において関係会社株式に係る評価損256百万円を特別損失に計上する見込みです。なお、当該評価損は、連結決算においては消去され、「（3）連結子会社ユーキ・トレーディングの企業結合において生じたのれん等の減損損失（連結）」に記載する特別損失が連結決算への影響額となります。

（3）連結子会社ユーキ・トレーディングの企業結合において生じたのれん等の減損損失（連結）

個別決算における関係会社株式に係る評価損の計上に伴い、連結決算において、株式会社ユーキ・トレーディングに係るのれん等の未償却残高190百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みです。

3. 今後の見通し

2026年3月期の通期業績予想につきましては、他の要因も含め現在精査中であり、今後、業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

以上